

1. 経過

- H26：厚貝の吉家一雄氏育成の赤肉 5 品種が種苗登録完了⇒同年秋から苗木販売開始
- H27 秋～：JA 中野市では秋から試験導入を開始 ⇒ 主に 2 品種限定
- H29 秋～：販売開始（市場向け）
- H31：ムーンルージュ長野県試作品種へ
- H31 春：導入系統をムーンルージュに一本化
- H31 春現在赤肉りんご栽培面積 2ha 到達

2. 品種概要

参考：赤色果肉りんごのタイプ特性（長野県うまくだ講習会資料より抜粋）

- タイプ 1 葉色：赤色 果皮色：赤色 果肉着色：幼果期から着色
- タイプ 2 葉色：緑色 果皮色：赤色～黄色 果肉着色：成熟期に着色

以下の 3 品種はタイプ 2 に分類。

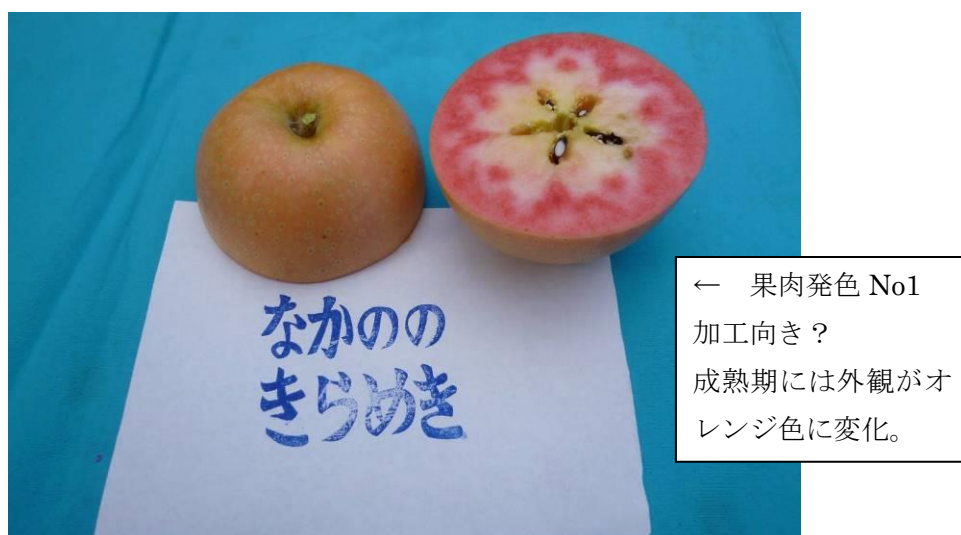
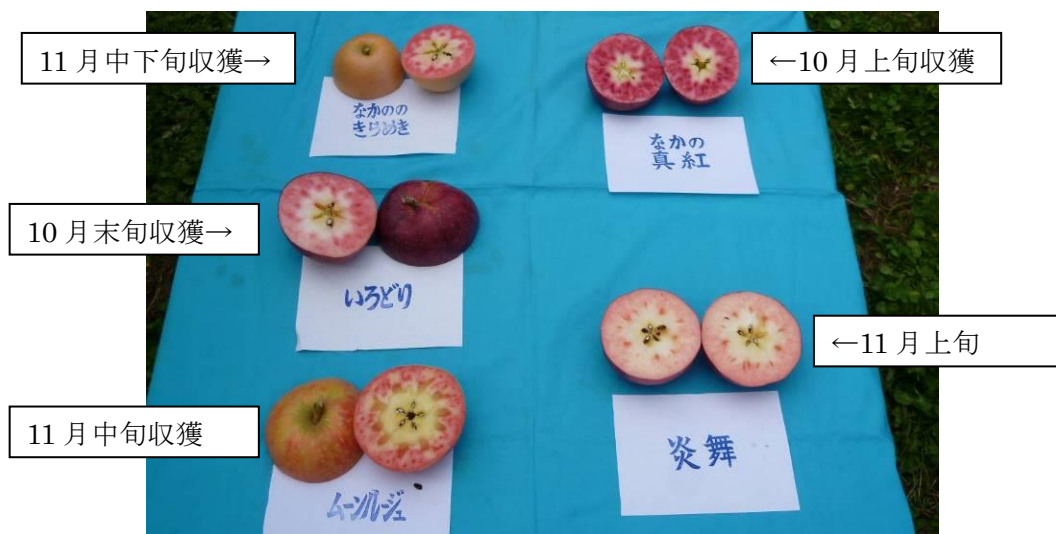
品種名	外観	果肉色	収穫時期	特性・食味他	貯蔵性
ムーンルージュ (いろどり×ふじ)	黄 橙	桃～ 赤色 <u>食味良い</u>	11/10 頃	酸度 0.52% 弱く開張性。 糖度高く食味良い。 300～350g 程度。 遺伝子型：S3S9	60 日
なかののきらめき (いろどり×王林)	黄 橙	濃赤色 <u>発色良い</u>	11/20 頃	中野市限定品種。 酸度 1.20%。酸味強い。 直立性。（王林に似る） 果肉が赤くなると外観はオ レンジ色に変わる。 300～350g 程度。 遺伝子型：S3S2	60 日
いろどり (紅玉×ピンクパール)	濃赤	濃紅色	10/25 頃	中野市限定品種。 酸度 0.54% 弱く開張性。接ぎ木向き。 着色先行型のため、未熟果収 穫注意。350g 程度。 遺伝子型：S3S7	30 日

*貯蔵性は普通貯蔵（2～5℃位）

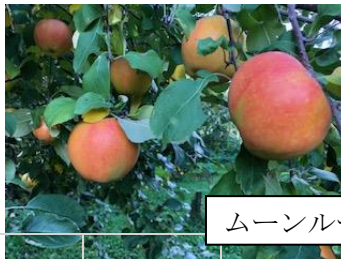
上段：吉家氏育成 5 品種

中段：なかののきらめき

下段：ムーンルージュ



3. 熟度調査結果 *H30・10/30 調査分



ムーンルージュ 2018



果肉発色	1:微 2:淡 3:中 4:濃 5:極濃				
11月8日	普通樹	結実2年目	岩井		
品種名	果重(g)	糖度(%)	硬度(P)	硬度(P)	果肉発色
ムーンルージュ	439.0	17.1	14.5	15.0	5.0
ムーンルージュ	357.0	16.5	13.3	15.1	2.5
ムーンルージュ	389.0	14.9	13.9	15.2	2.5
平均	395.0	16.2	13.9	15.1	3.3

ムーンルージュ 2018

平均糖度：16.2%

甘みが強く食味良好。
果肉発色は普通（指数 3）。
平年より早く 11/10 頃収穫適期に入った。収穫ロスあり。



なかののきらめき 2018



11月8日	普通樹	結実2年目	岩井		
品種名	果重(g)	糖度(%)	硬度(P)	硬度(P)	果肉発色
なかののきらめき	373.0	14.7	14.8	15.4	4.5
なかののきらめき	411.0	15.0	15.2	16.0	4.5
なかののきらめき	364.0	15.5	15.1	16.2	5.0
平均	382.7	15.1	15.0	15.9	4.7

なかののきらめき 2018

平均糖度：15.1%

果肉発色は濃厚（指数 4.7）。
3 品種のなかでは最も酸味強く、収穫時期は 11/20 頃と遅い。収穫ロス少ない。



いろどり 2018

11月8日	普通樹	結実6年目	厚貝		
品種名	果重(g)	糖度(%)	硬度(P)	硬度(P)	果肉発色
いろどり	372.0	15.7	15.2	15.8	3.5
いろどり	311.0	14.9	14.0	15.1	2.5
いろどり	341.0	13.6	14.2	15.0	2.0
平均	341.3	14.7	14.5	15.3	2.7

いろどり 2018

平均糖度：15.3%

着色は良好（濃赤色）。強い甘みなし。果肉発色やや悪い。
収穫適期は 11/5 頃と 3 品種のなかでは最も早い。

考察

1. 収獲適期

- いろどり：11/5 前後 *早期ワックス発生あり
- ムーンルージュ：11/10～15 *蜜入りあり
- なかののきらめき：11/15～20 *酸味強い
- きらめき・ムーンルージュは収獲適期の判断が容易 ⇒ 外観がオレンジ色で成熟

2. 果肉発色

- なかののきらめき > ムーンルージュ > いろどり
- 高標高地は果肉発色良く、酸の抜けが早い地帯は発色悪い。
- 小玉果・未熟果の発色は悪い～非常に悪い。
- 強樹勢でも、きらめき・ムーンルージュは果肉発色良い。

3. 果実品質

- 食味：ムーンルージュ > なかののきらめき > いろどり
- 酸味：なかののきらめき > ムーンルージュ > いろどり
- 蜜入り：ムーンルージュのみ
- ムーンルージュ：食味良く、蜜入りあり ⇒ 3品種のなかでは最も生食向き
- なかののきらめき：最も酸度高く貯蔵性あり ⇒ 加工向け
- いろどり：食味にインパクトない ⇒ 販売上厳しい品種か

4. 省力性・栽培性

- 薬剤摘果可能 ⇒ ふじ並みの中心果 9～10 mmが適期か。
- 落果防止剤 ⇒ 必要なし
- 葉摘み ⇒ 省力可（外観が赤系品種のいろどりも含む）
- ふじ（s1s9）との相性 ⇒ きらめき（s2s3）は授粉樹可。王林より開花早い。

5. 病虫害・軽欠点

- 炭そ病：ムーンルージュ（弱い）、きらめき（強い）
- ツル割れ：ムーンルージュに発生あり（多い年度もあり）
- 日焼け：果肉発色しにくい



6. 試験販売結果（市場出荷・JA ふじまつり他）

- 市場出荷実績（H30）：175 箱（10 kg）・単価@3,791 円/10 kg箱
 - 直販（2 種）：1 kg袋詰め（@500 円/袋）・5 kg箱詰め（@3,000 円/箱）
 - 販売品種（3 種）：ムーンルージュ・なかののきらめき・いろどり
 - 輪切りにした展示品及び試食品も同時提供。
 - お客様の反応
- ① 食味の良さではなく、見た目の珍しさで購入する方が大半。
 - ② 食味：ふじと比較すると劣るとの評価。
 - ③ 市場販売は手探り状態。業務関係への提案進めている。